

平成27年度 安塚小学校グランドデザイン

上越市学校教育目標

ふるさと上越を愛し、学ぶ力、豊かな心、
健やかな体をもって、自立と共生が
できる子どもを育てる。

保護者の願い

- 自分の役割を自覚し、協力して粘り強く取り組もうとする。
- 思いやりがあり、他の人に礼儀正しく接したりあいさつをきちんとしたりする。

教育目標

自ら考え、学ぶ子 思いやりのある子 健康でたくましい子

平成27年度 重点目標

つながり合い 高め合う子ども

目指す姿

様々な人・もの・こととかかわり
多様な事象・考え方に触れ、自分の考えを
確かにし、広げたり深めたりする。
自分の役割を自覚し、最後まで粘り強く
行動する。

地域の願い

- 自分の役割を自覚し、協力して責任を果たそうとする。
- 他の人に礼儀正しく接し、あいさつをきちんとする。
- 自分の考えを進んで話す、相手の意見をきちんと聞く。

人間関係づくり

学習意欲・学力向上

体づくり

相手を思いやり行動し、協力しながら問題解決する子ども

【主な方策】

- 学級や全校での自治を目指した学級活動や行事の実践
- あいさつ、ふわふわ言葉・行動など他とかかわるスキルの日常的な実践と評価、中学校や地域との連携した取組
- 思いやりと感謝が行き交う縦割り班活動の充実と振り返り

【評価基準】

- 全学級でQ-U調査の学級満足群70%以上
- 児童アンケート「進んであいさつできる」 a 評価70%以上
- 児童アンケート「あたたかい言葉がけができる」 a 評価70%以上
- 児童アンケート「学校が楽しい」 a 評価が70%以上

— 家庭教育と学校教育の 協働・連携 —

安塚小学校PTA 【主な方策】

- ・ 参観・参画を通じた情報・行動連携
- ・ よりよい健康的な生活と習慣形成
- ・ 教育環境整備への協働作業

学校運営協議会

【委員構成】保護者、地域住民、校長、教職員、学識経験者、関係行政機関の職員、その他教育委員会の適当と認める者

基礎・基本を身に付け、意欲的に学び合う子ども

【主な方策】

- 「話す・聞く、話し合う」など、学びを深める学習方法・ルールの確立
- かかわりのある授業づくりの公開と検証
- 個に応じた指導の継続 ○ Webテストの全校体制での効果的な活用
- 朝学習、チャレンジタイムの取組の充実
- 家庭への啓発と児童への支援による家庭学習の充実

【評価基準】

- 児童アンケート「考えをもつ、聞く・話す、話し合う」 a 評価60%以上
- 児童アンケート「国語や算数の授業がよく分かる」 a 評価60%以上
- NRT標準学力検査でバランスアチーバー以上が90%以上

■生活科・総合的な学習の時間■

ふるさと安塚の「人・もの・こと」と深くかかわり、協同して学びを深め、学んだことを発信する子ども

【主な方策】

- ・ 学年の活動に沿った指導者・支援者の発掘
- ・ 学んだことや考えたことの発信の工夫
- ・ 活動計画の見直しと活動の充実

自分の身体や健康について気付き、めあてをもって進んで体づくりに取り組む子ども

【主な方策】

- 一人一人の運動量を十分に確保する授業の工夫
- めあてをもって体力づくりができる強調単元の取組の工夫
- 親子が共通の意識をもって取り組むよりよい生活習慣
- 食への意識を高める食に関する指導の実施

【評価基準】

- 2回目の体力テストの測定値が児童の80%で向上
- 全ての家庭がめあてを立てて取り組むメディアコントロール運動
- 月1回、食の意識を高める食に関する指導

— 学校間 行動・情報連携 —

- 安塚保育園 ○ 安塚中学校 ○ 放課後児童クラブ

【主な方策】

- ・ 定期的な会議の開催による現状把握と方策の共有
- ・ 子どもの姿の見える化

学校・家庭・地域がつながり、子どもたちの夢を育む安小コミュニティ

— 「自分たちの学校」「自分たちの地域」支え合い活気のある地域社会の実現—

【主な方策】

- ・ 学校運営に対する評価
- ・ 学校応援団「やまびこ」組織の拡充
- ・ 情報発信

← ニーズの反映 →

家庭・地域

